

## 「マネロン・テロ資金供与対策訓練」を実施

国際的にテロの脅威等が高まる中、金融機関はマネー・ローンダリング(マネロン)及びテロ資金供与対策の強化が求められています。

けんしんではこれまで定期的に行っていた「ニセ電話詐欺防止訓練」に加え、今年度より「マネロン・テロ資金供与対策訓練」を実施しています。不正利用目的の口座開設を防ぐため、お客さまに対応するテラー係や預金役席を対象に、ロールプレイングを行います。また、実際に起きたケースを紹介し、注意点を確認します。今後も疑わしい取引を水際で防止するべく、訓練を活かし営業してまいります。



### 教育ローン新商品

## けんしん「奨学ローン」の取扱いを開始しました

けんしんでは、平成30年10月1日(月)より「奨学ローン」の取扱いを開始いたしました。本商品のご融資期間が最長20年となっており、ゆとりのあるご返済プランをご検討いただけます。

商品名	<b>奨学ローン</b>
ご利用いただける方	満20歳以上 完済時76歳未満の方
ご融資金額	10万円以上 1,000万円以下
ご融資期間	<b>20年以内</b> (元金据置期間を含む)
ご融資利率	年3.40%~年4.30%(保証料を含む)
お使いみち	●受験時、入学時、在学中に係る費用 ●他金融機関(消費者金融会社は除く)の教育資金に関する目的ローンの借換資金等
保証人・担保	全国しんくみ保証(株)(再保証会社:株)オリエントコーポレーションの保証を利用するため、原則必要なし



### 併せて、教育ローン金利引下げキャンペーンを実施中

条件に該当する方は店頭表示金利より1.10%引下げ!  
(キャンペーン期間:平成30年9月1日~翌年8月31日)

ご返済のシミュレーションなど詳しくは、お近くの各支店・ローン相談室までお問い合わせください。

平成30年11月15日現在

# けんしんの経営情報

KENSHIN MINI DISCLOSURE 2018.9

平成30年9月期

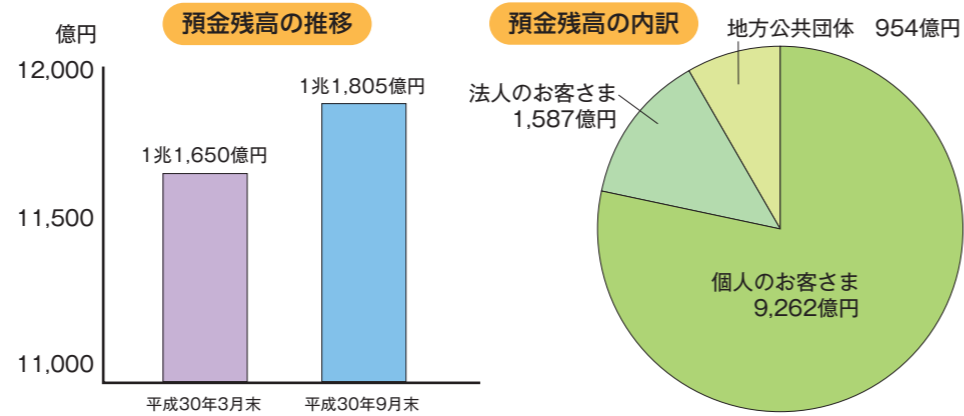


袋田の滝(大子町)

# けんしんの平成30年9月期経営指標

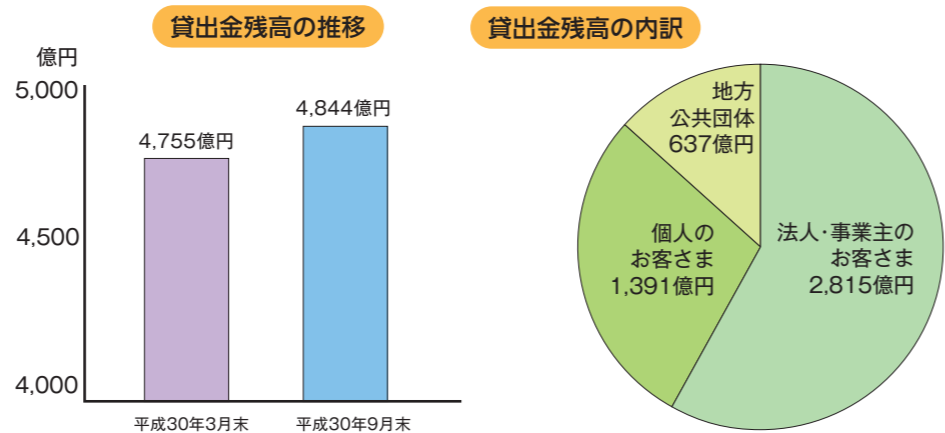
## 預金の状況

茨城県内の幅広いお客さまからお預けいただいた結果、預金残高は1兆1,805億円となりました。



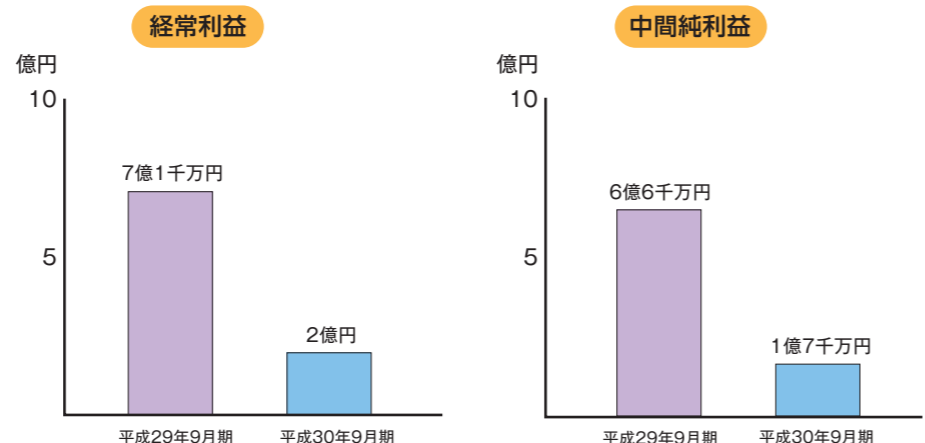
## 貸出金の状況

事業性融資を中心に、地域のお客さまの資金ニーズに積極的に対応させていただき、貸出金残高は4,844億円となりました。



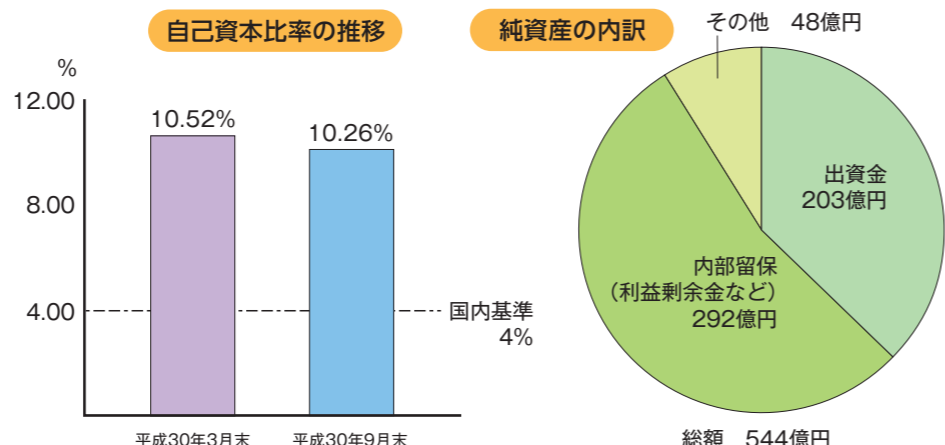
## 収益の状況

中小企業・小規模事業者や個人のお客さまへの融資に積極的に取り組んだことにより、貸出金利息は前年同月比で増加となりました。一方で与信関連費用が増加したことなどから、経常利益は2億円、中間純利益は1億7千万円となりました。



## 自己資本比率の状況

自己資本比率は、企業の総資産に対する自己資本(出資金、積立金など)の割合で、金融機関の健全性、安全性を判断する重要な指標です。けんしんの自己資本比率は国内基準の4%、国際基準の8%を上回っています。



## 有価証券の状況

有価証券の運用については、安全第一の運用方針のもと分散投資を行い、長期的で安定的な収益確保を目指しています。貸借対照表に影響のある「その他有価証券」は、64億6千万円の含み益を計上しています。

平成30年9月末

区分	貸借対照表計上額	時価	含み損益	平成30年9月末		
				平成30年3月末比	含み益	含み損
満期保有目的の債券	29,573	28,293	△1,279	△491	14	1,293
国債	51	52	0	0	0	-
地方債	21	21	0	0	0	0
社債	4,500	4,391	△108	△31	-	108
その他	25,000	23,828	△1,171	△459	13	1,185

平成30年9月末

区分	貸借対照表計上額	取得原価	含み損益	平成30年9月末		
				平成30年3月末比	含み益	含み損
その他有価証券	373,964	367,499	6,464	△2,168	7,352	887
株式	1,584	1,125	459	42	459	-
債券	370,081	364,061	6,020	△2,198	6,882	862
国債	22,926	22,235	691	△168	705	14
地方債	62,558	60,842	1,716	△359	1,755	39
社債	284,596	280,984	3,612	△1,670	4,421	809
その他	2,297	2,312	△14	△12	10	24
子会社及び関連会社株式	986	986	-	-	-	-

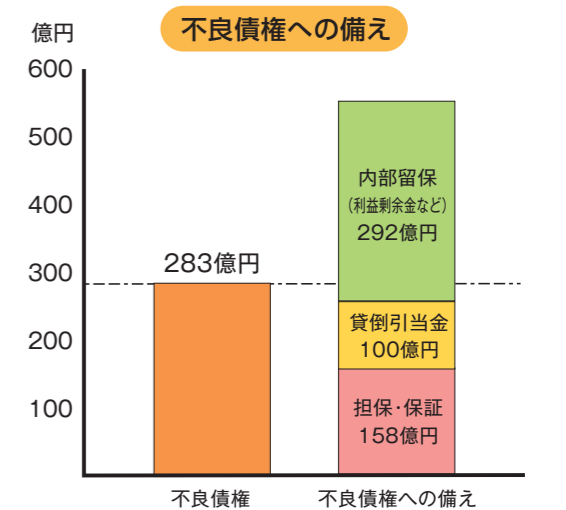
- 金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。
- 残高表示は、残高が全くない場合は「-」表示、表示単位未満の残高がある場合は「0」表示しています。
- 「満期保有目的の債券」の貸借対照表計上額は取得原価を計上しています。「その他有価証券」の貸借対照表計上額のうち、時価のあるものは市場価格等に基づく時価を、時価のないものは取得原価に基づいて計上しています。

## 金融再生法に基づく開示債権及び同債権に対する保全の状況

金融再生法に基づく不良債権は、平成30年3月末比10億3千万円減少しています。また、不良債権計に対する保全率は91.56%となっています。

単位：百万円

区分	平成30年3月末	平成30年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	14,069	14,084
危険債権	11,125	10,163
要管理債権	4,153	4,067
不良債権計 (A)	29,348	28,315
正常債権	447,244	457,085
合計	476,593	485,400
担保・保証等 (B)	16,987	15,845
貸倒引当金 (C)	9,794	10,080
保全額合計 (D)=(B)+(C)	26,781	25,926
担保・保証等、引当金による保全率 (D)/(A)	91.25%	91.56%
貸倒引当金引当率 (C)/(A-B)	79.23%	80.84%



### 金融再生法に基づく開示債権及び同債権に対する保全額の注記

- 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 「要管理債権」とは、「3ヶ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
- 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。
- 「担保・保証等(B)」は、「不良債権計(A)」における自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計です。
- 「貸倒引当金(C)」は、「正常債権」に対する一般貸倒引当金を控除した貸倒引当金です。